

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年11月26日

1. 【徳田安春先生ご紹介速報】南アフリカでデルタ株以上に感染力の強い変異株が発見された！
2. 喫煙と肥満は新型コロナに合併した肺塞栓症の危険因子

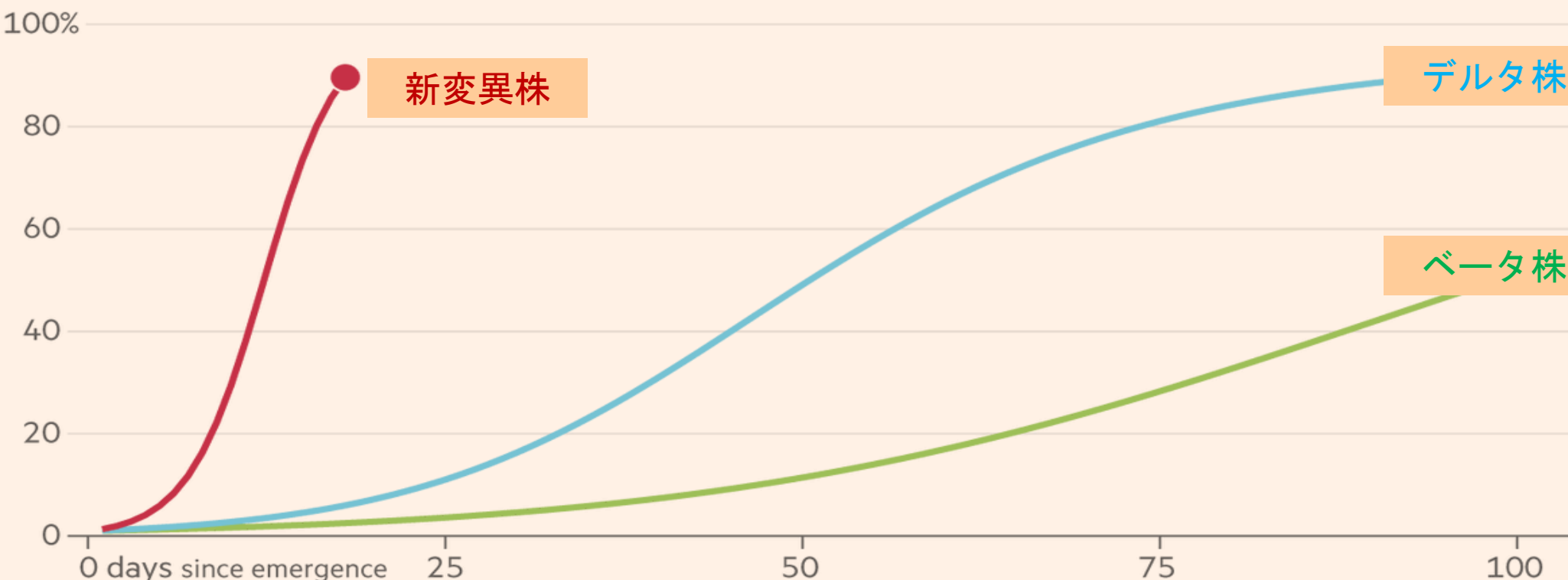
【松崎雑感】

1. 南アフリカで、デルタ株よりもさらに感染力の強い変異株が発生しました。1か月以内に、南アフリカ全体に広がったようです。詳細は後報。
2. 新型コロナは、脳、肺、腹部の動脈に血栓を作ることが多いわけですが、喫煙と肥満があるとリスクが高まることがサウジアラビアの研究者から発表されました。

徳田安春先生のTw情報紹介：南アフリカでデルタ株以上に感染力の強い変異株が発見された！

南アフリカにおける新型コロナウイルス感染者に占める変異株の置き換わり率の時間的経過：デルタ、ベータでは数か月かかったが、この新変異株は1か月以内に、新型コロナウイルス感染の主役となった。

Share of all sequenced cases* in South Africa accounted for by each variant, by number of days since it passed 1%



*Growth of B.1.1.529 is modelled from SGTF data rather than full genomic sequences
Source: FT analysis of data from GISAID and the South African National Health Laboratory Service

© FT

【出典】「Everything we know so far on the new B.1.1.529 variant, for which there is an emergency @WHO meeting to review <https://t.co/TmxGBi6IEv> @nature by @ewencallaway @nature <https://t.co/r9kHwg2zjW> <https://t.co/tBEct7F8M7> by @jburnmurdoch @FT <https://t.co/fe5pklpqnW>」 / Twitter

喫煙と肥満は新型コロナに合併した肺塞栓症の危険因子

Alaithan FA (adiology, Dammam Medical Complex, Dammam, SAU.), Aljawad MH, Ghawas AH, Althobaiti AS, Almuslem QA, Bin Nasif MH, Algharbi FF, Alshehri RA, Al Gethami YK, Altowayan KW, Alzahrani FK, Suwaylih AA, Alwadai AS, Badawi AM, Alshammari M. **Pulmonary Embolism in COVID-19 Patients: A Retrospective Case-Control Study.** **Cureus**. 2021 Oct 19;13(10):e18887. doi: 10.7759/cureus.18887. PMID: 34820215; PMCID: PMC8600393.

背景

新型コロナでは、凝固異常が合併することが多い。肺塞栓症は、発見が遅れると重症化と死亡リスクが高くなる。血管造影CTが診断に重要である。この所見に基づいて、新型コロナ感染者における肺塞栓症リスク増加因子を検討した。

方法

造影CTで診断された肺塞栓症と患者の臨床的パラメータの関連を新型コロナ感染の有無別に検討した。

結果

新型コロナ感染者と非感染者156名ずつについて造影CTを実施。全体で76名(24.1%)に肺塞栓症がみられた。

新型コロナ感染者の8.2%と非感染者39.9%に肺塞栓が確認された。Dダイマーは新型コロナ感染者の87.3%、非感染者の21.5%に見られた。

多変量回帰分析では、喫煙(オッズ比1.94; 1.4-3.8)と肥満(オッズ比4.1: 1.5-8.9)が肺塞栓症と有意に関連していた。しかし、新型コロナ感染者では、肺塞栓症とDダイマーの有意な関連は見られなかった。

結論

新型コロナ感染者では、肺塞栓の罹患率が低かった。これは、感染群に対する造影検査実施率を高めたためと考えられる。また、感染群ではDダイマー増加者が多かったため、造影検査実施件数が増えた原因かもしれない。新型コロナにおける肺塞栓症には喫煙と肥満が増加因子として関与していた。